



株式会社 **CE** ホールディングス



証券コード
4320

2023年9月期 決算説明会資料

2023年 11月



01. 当社及び当社グループの概要

02. 2023年9月期 業績

03. 2023年9月期 トピックス

04. 「中期経営計画 2026」 概要

■ 参考資料

会社概要（2023年9月末現在）



持株会社



CEホールディングス

設立：1996年3月
本社：札幌市
資本金：12億1,807万円
従業員：610名
市場：東証スタンダード
札幌
(証券コード 4320)

代表取締役会長：
杉本 恵昭
代表取締役社長：
齋藤 直和

事業会社

持株比率



シーエスアイ

100.0%

電子カルテシステム「MI・RA・Is」を中心とした医療システム開発と受託システム開発



Mocosuku

57.5%

医療とWebの知見を活用した、産業保健事業、人材事業、マーケティング事業



エムシーエス

51.0%

看護業務システムの開発・導入・運用保守をトータルサポート



マイクロン

70.6%

イメージング技術を活用した、効率的な臨床開発支援



ミフロンティア

マイクロン100.0%

臨床開発に必要な、高度な人材の派遣



デジタルソリューション

100.0%

医療情報システムの開発・導入・運用保守をトータルサポート



サカカンパニー

100.0%

企業やサービスのデジタルマーケティング実行支援とデジタルマーケティング人材を育成





01. 当社及び当社グループの概要

02. 2023年9月期 業績

03. 2023年9月期 トピックス

04. 「中期経営計画 2026」 概要

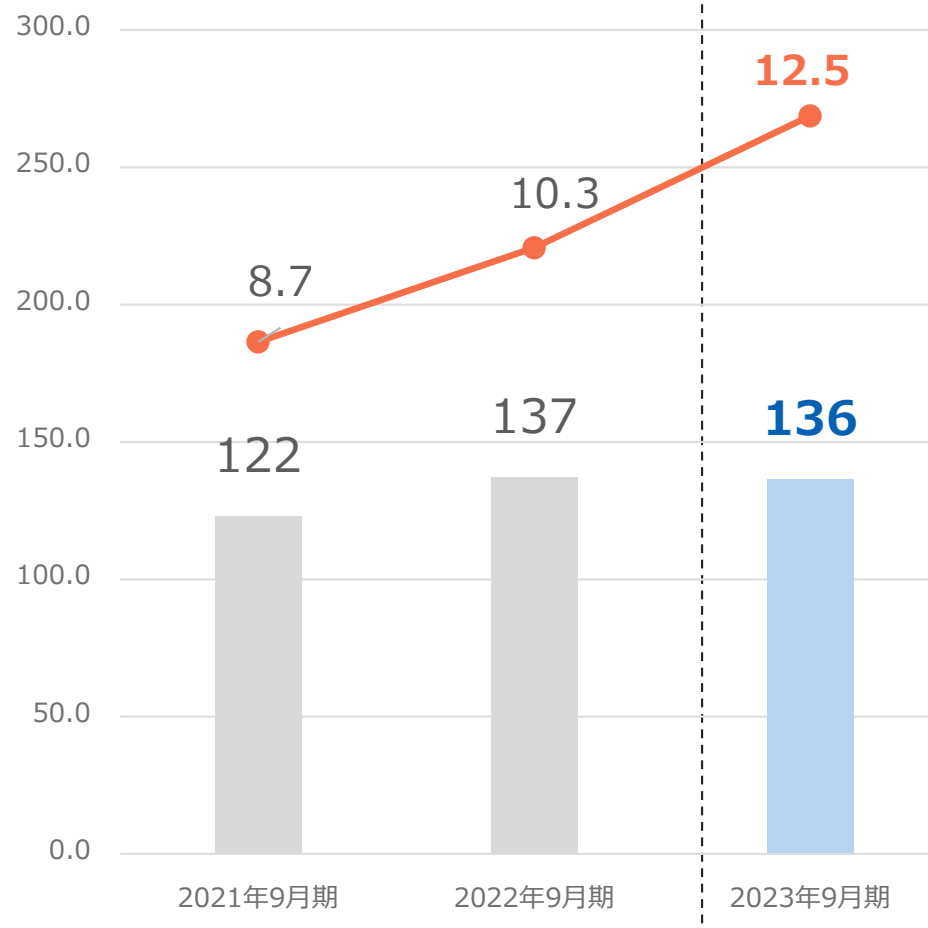
■ 参考資料

2023年9月期 業績



(億円)

売上高



営業利益

- 売上高は、電子カルテシステムの販売において、前期は複数の大型案件の導入・更新があったことや、医薬品・医療機器開発支援等において、計画を下回ったことが影響し、**ほぼ前期並みの水準**
- 利益面では、電子カルテシステムにおいて、採算性の高い物件の販売に伴う利益の増加等により、**前期比で増加**



売上高を除いた、売上総利益、営業利益、経常利益、当期純利益が過去最高

※ 記載金額は千万円未満を切り捨てて表示しております。

2023年9月期 業績



単位：百万円	2022年9月期 実績	2023年9月期 実績	前年比 増減率
売上高	13,702	13,632	△ 0.5%
営業利益	1,031	1,254	+ 21.7%
経常利益	1,044	1,257	+ 20.4%
当期純利益	588	687	+ 16.9%

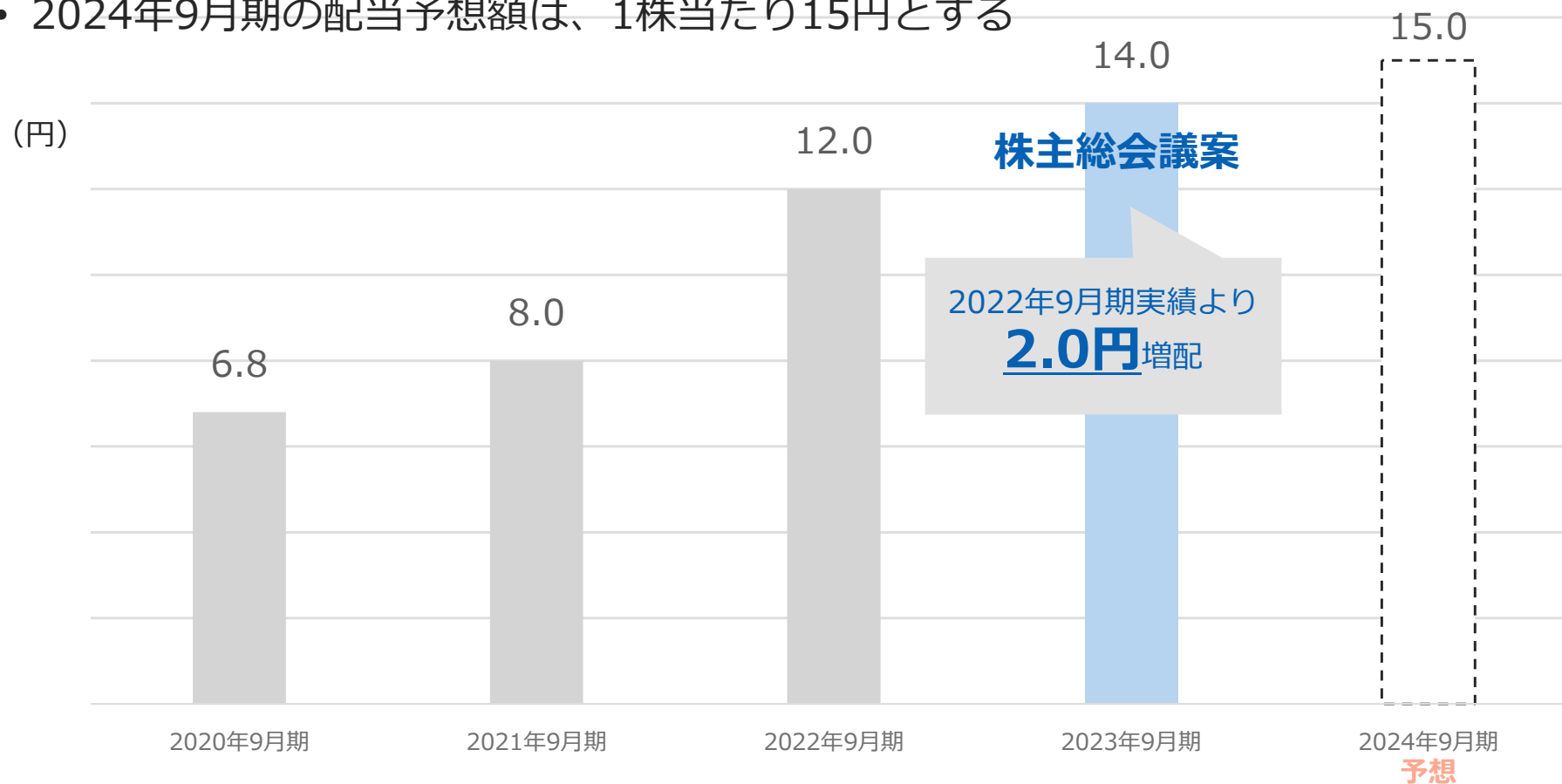
※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※ 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を表示しております。

剰余金の配当（増配）

定時株主総会
付議予定

- 2023年9月期の連結業績を踏まえ、
2022年9月期実績から**普通配当を2円増配し、
期末配当金を1株当たり14円とする**予定
- 2024年9月期の配当予想額は、1株当たり15円とする





01. 当社及び当社グループの概要

02. 2023年9月期 業績

03. 2023年9月期 トピックス

04. 「中期経営計画 2026」概要

■ 参考資料

スタンダード市場の選択・移行

株式会社
CEホールディングス

- ・決議日：2023年9月25日
- ・適時開示URL：https://www.ce-hd.co.jp/wp-content/uploads/2023/09/20230925_standardsentaku.pdf
- ・市場移行日：2023年10月20日

東証の市場区分再編により2021年12月にプライム市場を選択したが、
2023年4月に市場区分の再選択措置が設けられたことにより、スタンダード市場を選択

・ 選択理由

プライム市場上場維持基準充足のために経営資源を消費するのではなく、中長期的な視点で経営資源を振り分け、当社の成長や企業価値向上に注力すべき

流通株式時価総額基準を充たしたとしても、株価は不確定要素を内包するため、将来的に上場維持基準を達成できないリスクがある

市場区分再編に係るこれまでの経緯や、コーポレートガバナンス・コード改訂の方向性を踏まえると、プライム市場は将来的に上場維持基準変更や上場維持コストの増加といった可能性が考えられ、さらに経営資源を消費しなければならない状況が起こりうる

- ・ 中期経営計画の取り組みや数値目標に変更はなく、引き続き企業価値向上に取り組む

新株予約権発行による資金調達

株式会社
CEホールディングス

- ・決議日：2023年9月25日
- ・適時開示URL：https://www.ce-hd.co.jp/wp-content/uploads/2023/09/20230925_shinkabuyoyaku.pdf
- ・補足資料URL：https://www.ce-hd.co.jp/wp-content/uploads/2023/09/20230925_shinkabuyoyaku_hosoku.pdf

第三者割当により発行される第4回新株予約権の発行・コミットメント条項付き第三者割当契約の締結

資金調達の目的	<u>将来的なM&A資金をあらかじめ確保</u> し、必要な場合に時期を捉えたM&Aをより実施しやすくする
資金調達の方法	第三者割当による新株予約権の発行（割当先：マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社） ・新株予約権の行使により、同社が当社株式の10%超を保有することはない
資金調達額	約1,493百万円（差引手取概算額）
今回発行する 新株予約権個数 及び潜在株式数	新株予約権：25,000個（現在の議決権個数に対する比率 16.73%） 潜在株式数：2,500,000株（現在の発行済株式総数に対する比率 16.29%） ・ <u>これを超える株式価値希薄化は生じない</u>
当初行使価額 下限行使価額	いずれも600円 ・ <u>行使価額固定型</u> だが、6ヶ月超の間隔で <u>600円を下限として</u> 修正が可能 （ <u>MSCB等（注）ではない</u> ） ・ <u>株価が行使価額より上昇しない限り希薄化が生じない仕組みで、本資金調達による株価下落リスクをできるだけ抑える設計</u>

（注）行使価額が株価を基準として修正される（6か月間に1回を超える頻度で）発行条件が付された有価証券

グループの主な事業

医薬品・医療機器 開発支援

- ・臨床試験での画像解析業務の受託
- ・SaMD（プログラム医療機器）の承認取得支援及び販売
- ・臨床試験のモニタリング業務の受託



製薬会社・医療機器メーカー

電子カルテシステム関連

- ・電子カルテシステム開発・販売・保守
- ・クラウド、医療従事者向けスマホサービス
- ・勤務表作成やリハビリ業務等の支援システム販売



病院

PHRサービス関連

(Personal Health Record)

- ・スマートフォン向けサービス（からだメモ、ドクターメモ）
- ・上記に付随するオプションサービス



個人

デジタルマーケティング支援

- ・Webサイト制作（リブランディング）
- ・Webプロモーション（広告・販促）
- ・デジタルマーケティング人材の育成

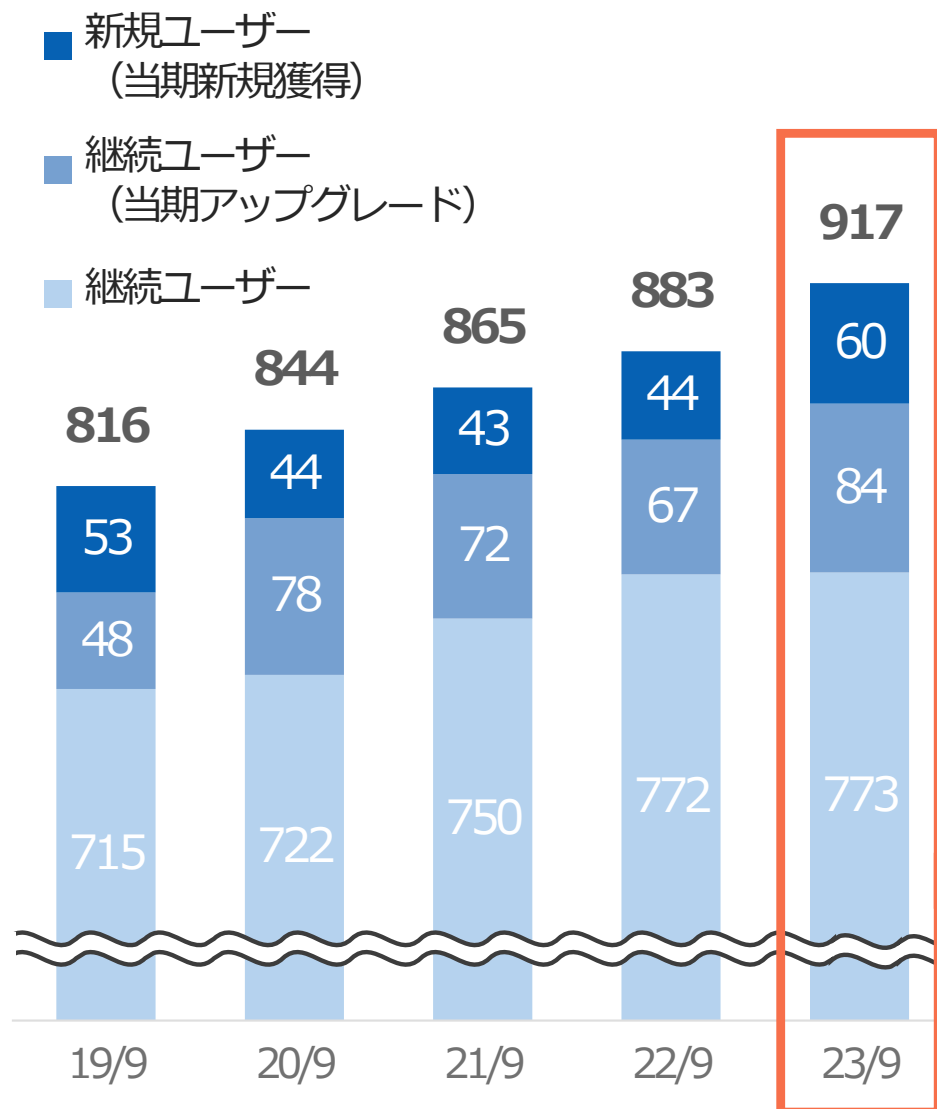


企業・組織

電子カルテシステム 導入数推移と特徴



MI・RA・Isシリーズ 導入数推移



電子カルテシステム導入済病院のうち 当社シェアは**16.1%**

(「医療機器システム白書2023」データから当社集計)

中小病院に特に強み

当社顧客の**約7割**が
中小病院 (300床未満)

400床
以上
2.3%

300~
399床
7.5%

メインターゲット

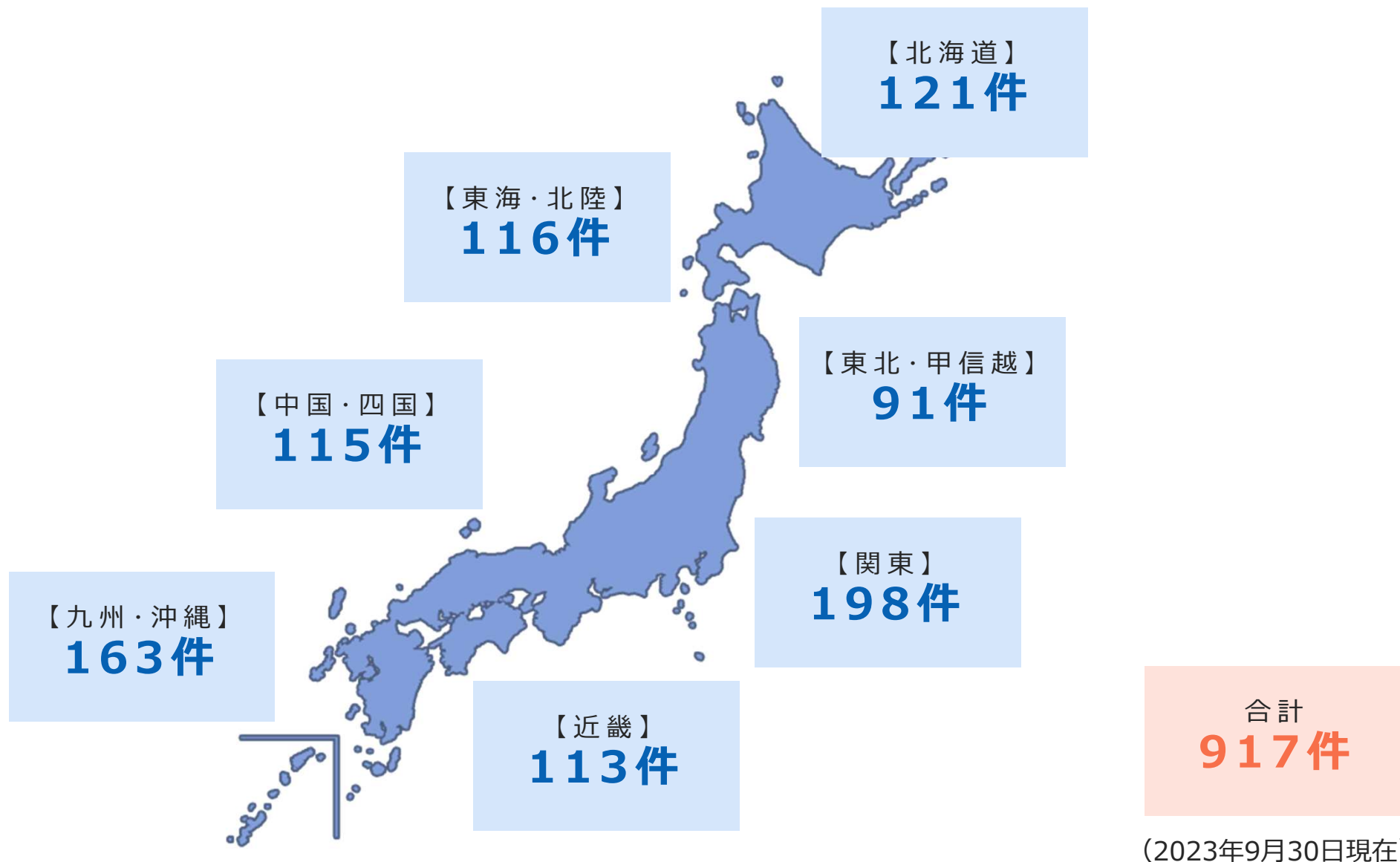
200~
299床
11.9%

100~
199床
37.6%

20~
99床
20.9%

20床
未満
19.7%

MI・RA・Isシリーズ導入実績



電子カルテMI・RA・Is向け新機能 「スマホDEカルテ（仮称）」を提供

（2023年7月）

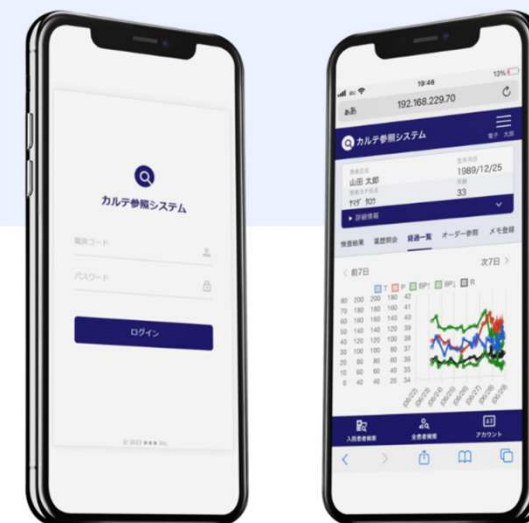
株式会社
シーエスアイ

- ・ プレスリリース日：2023年7月11日
- ・ URL：<https://www.csiinc.co.jp/company/news/smartphonechart/>

スマートフォンのブラウザから電子カルテを参照可能とした機能を提供開始

「スマホDEカルテ」について

- ・ スマートフォンのブラウザから、電子カルテを参照可能とした機能。
 - ・ 電子カルテ用PCの無いところから、患者情報を閲覧可能。
 - ・ いつでも備忘録・メモを残すことが可能。
- ・ iOS、Androidのいずれも対応可能。



スマートフォン向けPHRサービスの実証開始

- ・プレスリリース日：2023年9月11日
- ・プレスリリースURL：https://www.ce-hd.co.jp/wp-content/uploads/2023/09/20230911_csi_phr.pdf

シーエスアイは、患者が自分の体調を管理し、担当医師との情報共有を促進するスマートフォン向けPHR（※1）サービスのパイロット実証を開始

- ・患者向けの「からだメモ」（※2）と医師向けの「ドクターメモ」（※3）の二つのアプリケーションを使用。

- ・医療現場におけるより一層の運用性向上に資するサービス提供を段階的に目指す。
- ・電子カルテシステム連携や、予約/決済等の機能追加を順次実施、ユーザー利便性を向上。

（※1）PHR：Personal Health Record

（※2）からだメモ：患者が自身の健康情報や体調管理情報等を入力し、本人や家族が正確に把握。診療の際にも担当医師に伝達可能にする。

（※3）ドクターメモ：「からだメモ」に対応するアプリケーション。患者が入力した情報を診療前に参照するとともに、医師個人向けに自動生成された診療メモを用い患者管理業務の負荷軽減を図る。

【からだメモ】

【ドクターメモ】

パートナーとの協業を中心に海外展開を加速

医療機器の開発支援の海外展開

2023年8月

フランスECLEVAR社との業務提携

日本及び海外において、医療機器メーカーの臨床開発から薬事承認取得までのサポート体制を強化・充実させることを目的



プログラム医療機器 自社製品の海外展開

2023年3月

台湾でのプログラム医療機器販売店契約締結

- ・ 自社製品である「脳画像解析プログラム PMAneo」を海外で初めての販売店契約を、Getz Bros & Co. (BVI), Inc., Taiwan Branch と締結
- ・ 今後、台湾全域における医療機関へ PMAneo を提供

2023年4月

JETROがマイクロンを海外展開支援対象企業に選定

- ・ 「新輸出大国コンソーシアム」専門家による海外支援に、2023年度も海外展開支援対象企業として採択
- ・ プログラム医療機器の日本・台湾に次ぐ新たな市場開拓に向け、ASEAN等候補地の調査を開始



01. 当社及び当社グループの概要

02. 2023年9月期 業績

03. 2023年9月期 トピックス

04. 「中期経営計画 2026」 概要

■ 参考資料

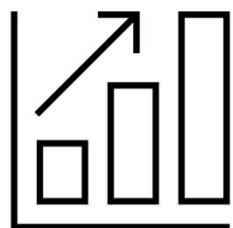
成長戦略・基本方針

成長戦略

- ▶ 既存事業の収益拡大
- ▶ 既存事業の強みを生かした新たなサービスビジネスの創出
- ▶ 既存事業に次ぐ、成長事業の創出

基本方針

当社株式上場市場がプライム市場からスタンダード市場に移行したが、**前回発表中期経営計画で掲げた取り組みや数値目標に変更はなく**、引き続き企業価値向上に取り組む



既存事業の収益構造改善
により収益を拡大



グループ内リソースの
活用に加え
**他社との提携やM&Aを
積極的に推進**



新規事業を推進・創出し

3～5年後までに事業基盤を確立



必要かつ十分なリソースを
見極め、積極的な投資と
モニタリングを実施

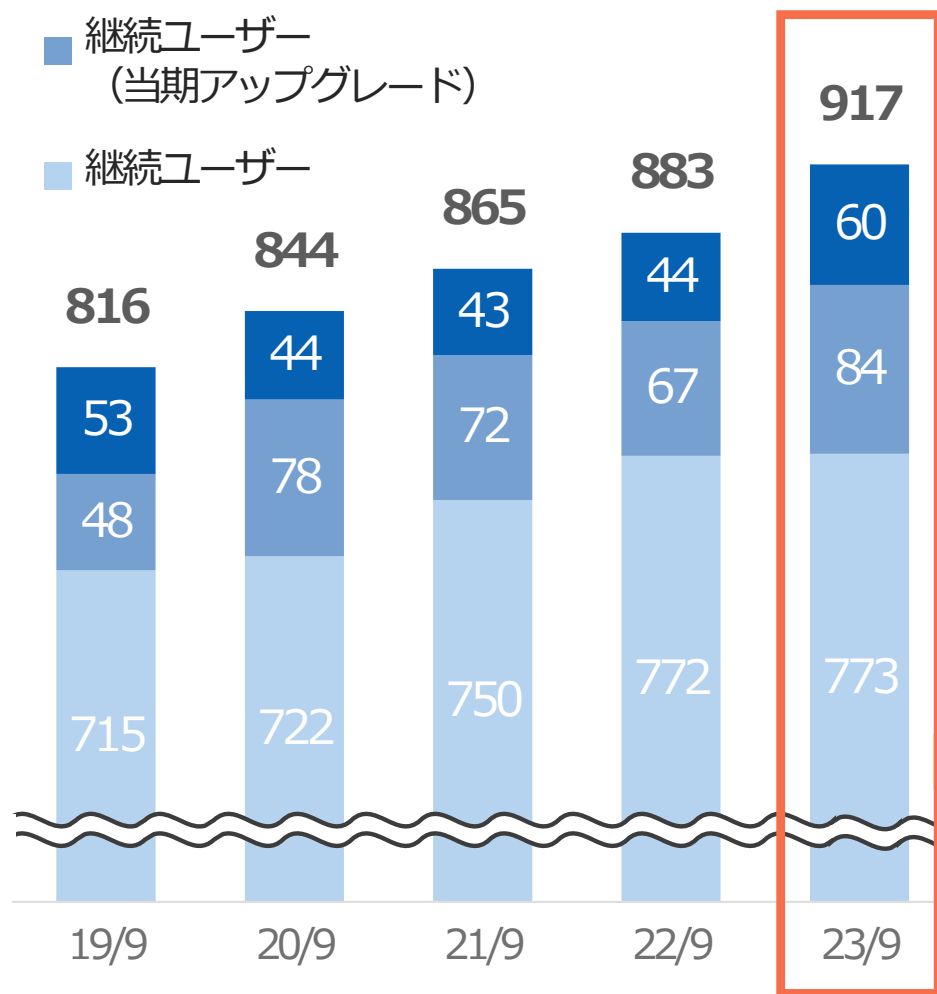


人事や業務システム等の
経営基盤強化

電子カルテシステム MI・RA・Isシリーズ導入数推移



- 新規ユーザー
(当期新規獲得)
- 継続ユーザー
(当期アップグレード)
- 継続ユーザー



電子カルテシステム導入済病院のうち
当社シェアは**16.1%**

(「医療機器システム白書2023」データから当社集計)

中小病院に特に強み

当社顧客の**約7割**が
中小病院 (300床未満)

400床
以上
2.3%

300~
399床
7.5%

メインターゲット

200~
299床
11.9%

100~
199床
37.6%

20~
99床
20.9%

20床
未満
19.7%

主な事業の3年後の姿

電子カルテシステム関連



病院等医療機関 向けの事業

- 人材や製品・サービス開発への投資を積極的に行ないつつ、安定的に営業利益率10%以上を確保する売上構造を構築している
- 3年後以降は、営業利益率10%以上を維持したまま売上高を拡大し、利益の絶対額を拡大

PHRサービス関連 (Personal Health Record)



個人（患者や医療従事者） 向けの事業

- 2024年にサービスを開始し、1年後には利用者数100万人を見込む
- 他社サービス連携により利用者数獲得を加速し、我が国における医療情報インフラの一端を担う

「電子カルテシステムベンダー」の枠を超え、
強み（次頁）を生かしたユニークな企業グループへ

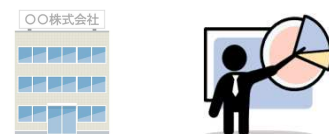
医薬品・医療機器 開発支援



製薬会社・医療機器 メーカー等向けの事業

- イメージング事業（臨床試験での画像解析業務の受託）のアジアトップを維持しつつ、海外（特に米国）中堅製薬企業からの受託実績を積み重ねている
- 自社開発SaMDの製品数を現状2製品から5製品へ拡大する

デジタル マーケティング支援



企業・組織 向けの事業

- 制作主体から、デジタルの広告・マーケティング支援へ事業領域を拡大している
- 医療・ヘルスケア業界向けの多数の実績と組織を有している
- デジタルマーケティング実行支援会社が提供する研修の中で、トップクラスにある

私たちの強み



ケイパビリティ

01 医療従事者の現場利用率が最も高い
電子カルテシステムで大きなシェア

02 医療現場における**多種多様なシステム**
との**接続・連携ノウハウ**

03 医療施設の**ITシステム全体**の機能・
運用に関与

04 製薬企業や医療機器企業の**事業ニーズ**
を把握

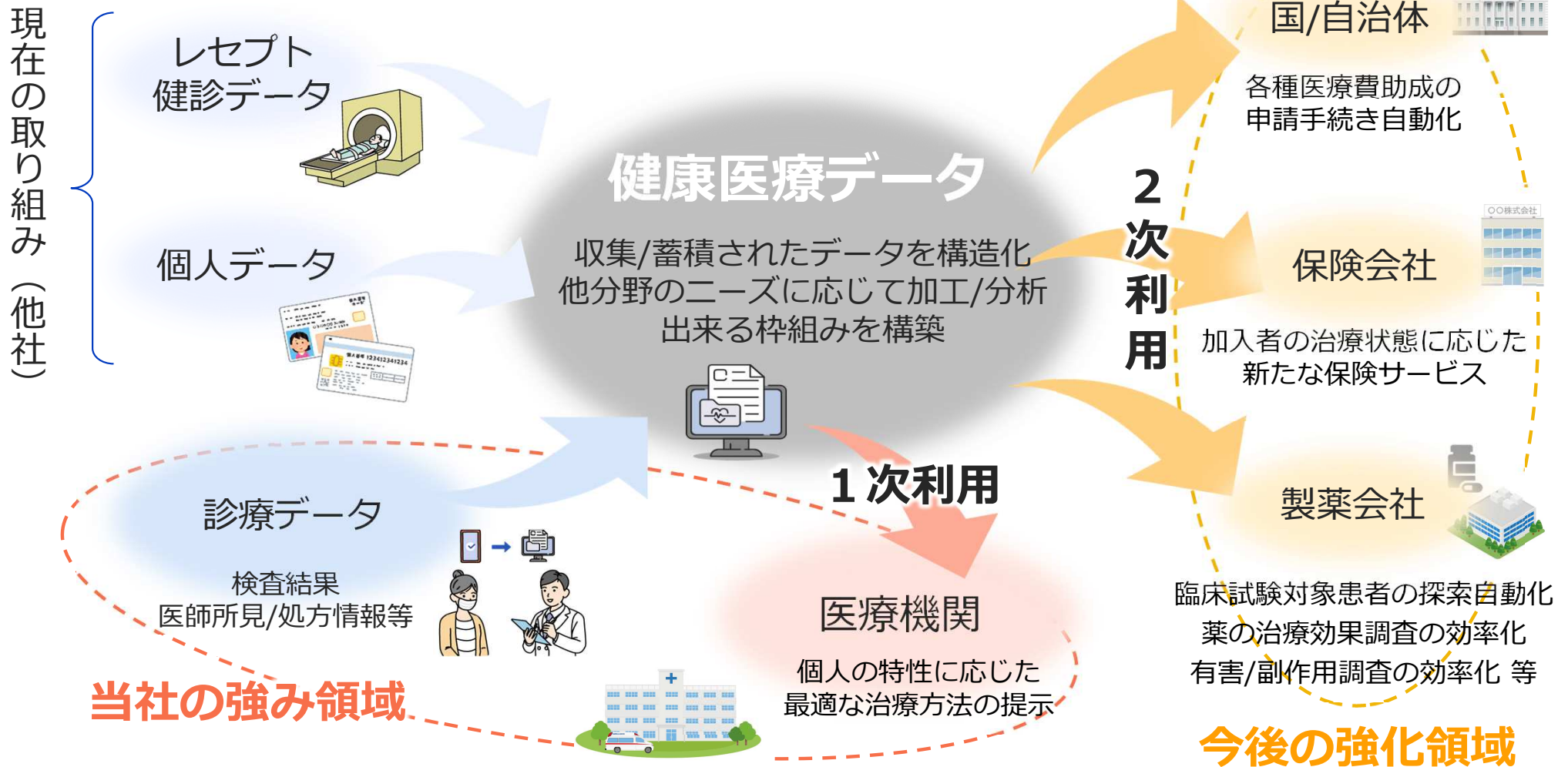
コア・コンピタンス

医療をはじめとする**ヘルスケア領域全般**における現場のニーズを理解し、
中長期にわたり価値を提供しつづけることができる**製品と人材**を保有



新規事業創出の取り組み（医療データ利活用）

現在のレセプト/健診データ中心の取り組みを更に深化
当社ならではの強みで新たな社会価値を創造してゆく



新規事業創出の取り組み（医療データ利活用）

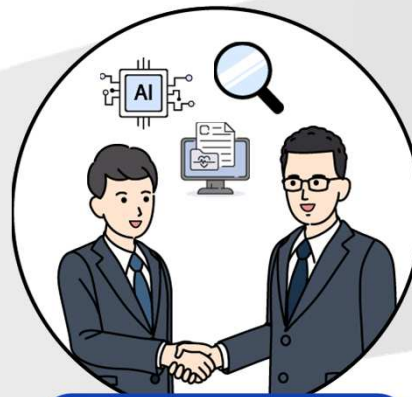
提供価値の拡大

患者利便性の向上
医療現場の働き方改革実現



PHR普及展開

パートナーシップ
M&Aによる事業基盤の構築



データ収集 / 解析



データ利活用

製薬会社・保険会社向け等
新たな価値提供サービス

【2026年の姿】

- PHRサービスを普及展開し、電子カルテシステムの知見も活用したデータ集積/活用の事業モデルを確立
- 他社サービス連携含めたデータ集積/活用のインフラ整備と運用主体者としての地位確立

2026年～

データ利活用による新たな収益モデル確立

2025年～

収集データの加工/解析

2024年～

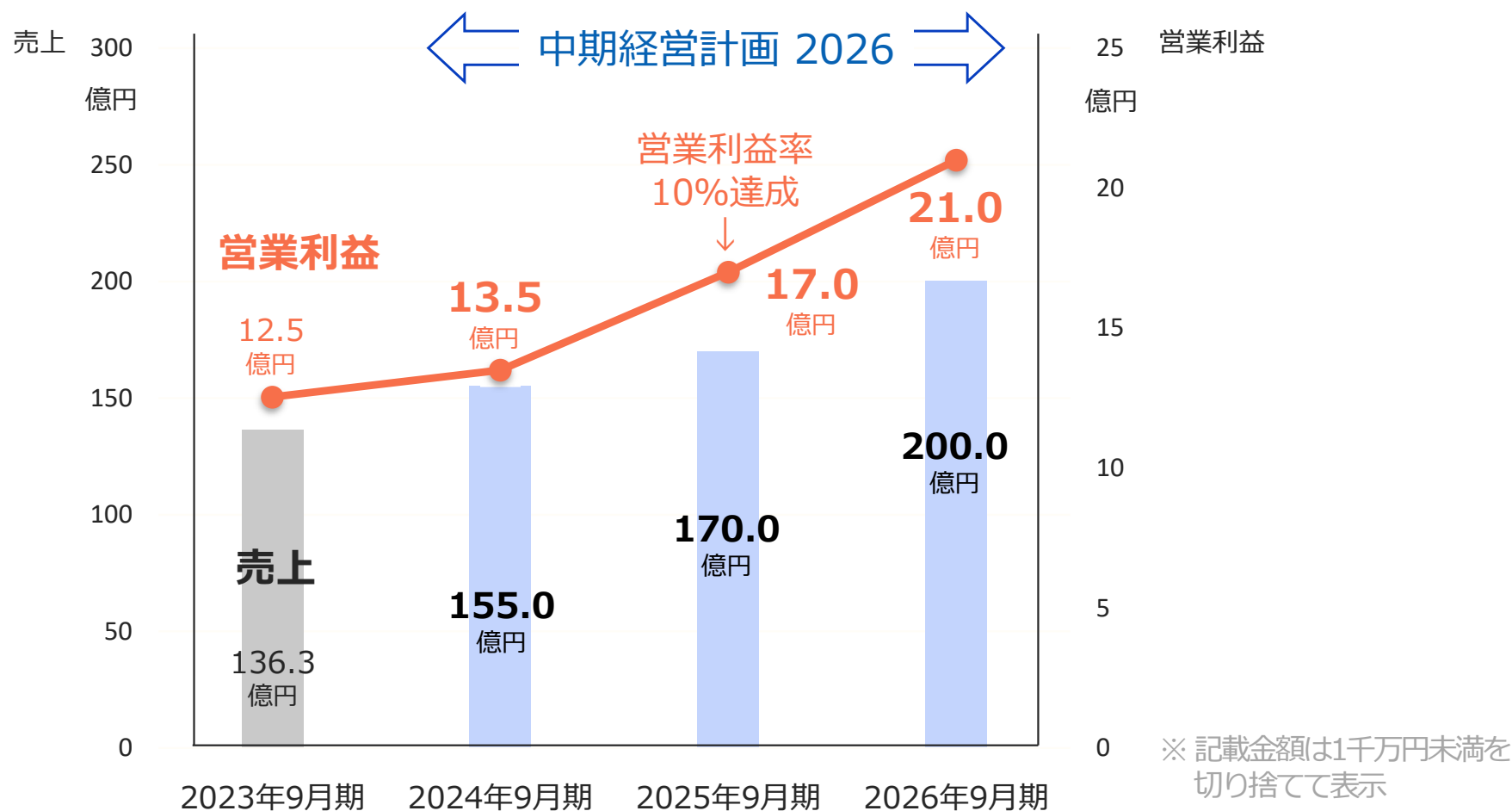
PHRサービスの普及展開によるデータ収集基盤の構築

中期経営計画 2026 中期目標



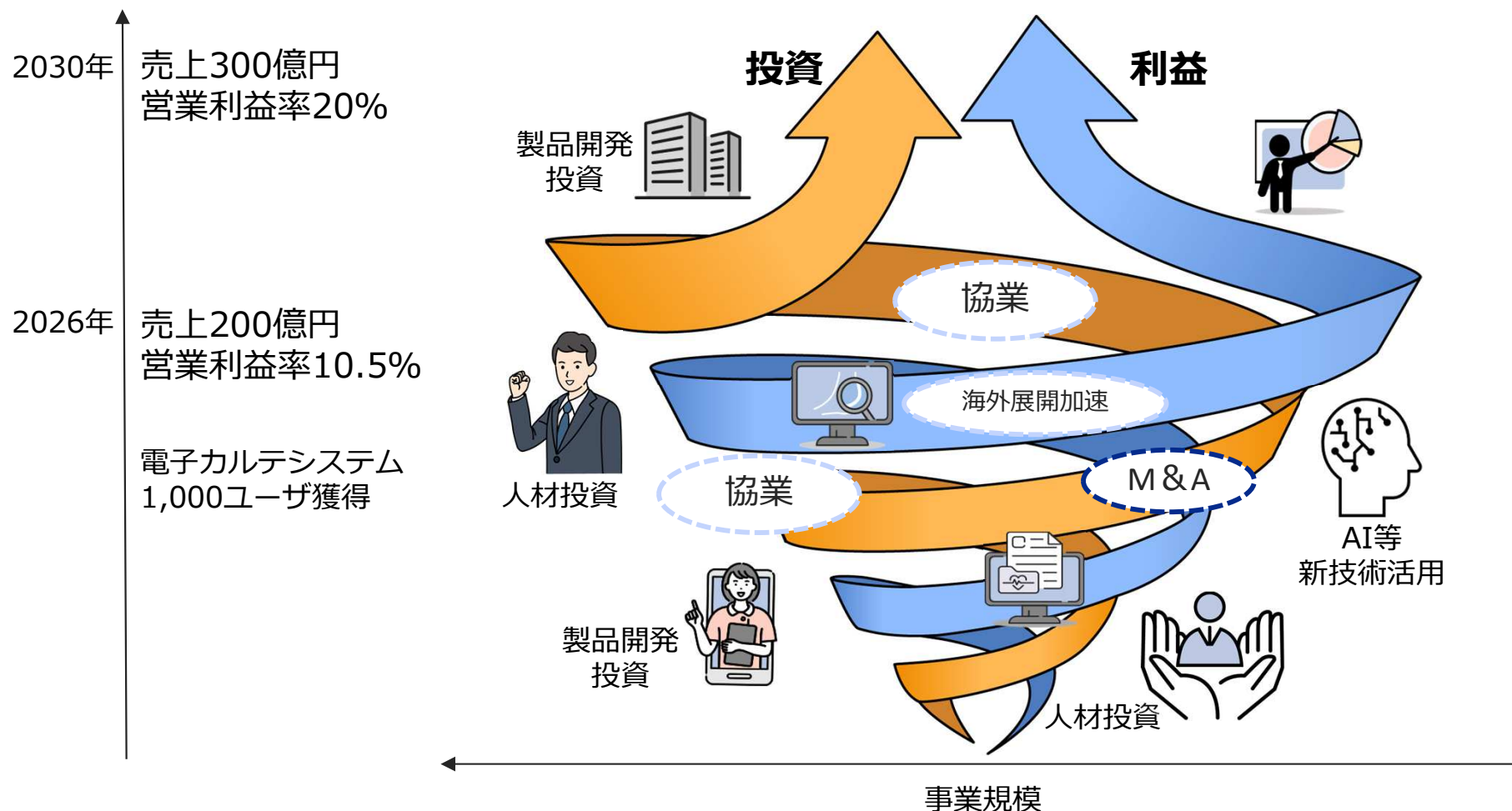
2026年9月期に売上200億円、営業利益 21億円を目指す

前回計画（中期経営計画 2025）の目標値を維持



2030年に向けて

「事業からの利益創出」と「人材育成・事業拡大・経営基盤強化への再投資」を両輪に
好循環を生み出し、**2030年に営業利益率20%を目指す**（売上高 300億円を想定）





- 01. 当社及び当社グループの概要
- 02. 2023年9月期 業績
- 03. 2023年9月期 トピックス
- 04. 「中期経営計画 2026」概要

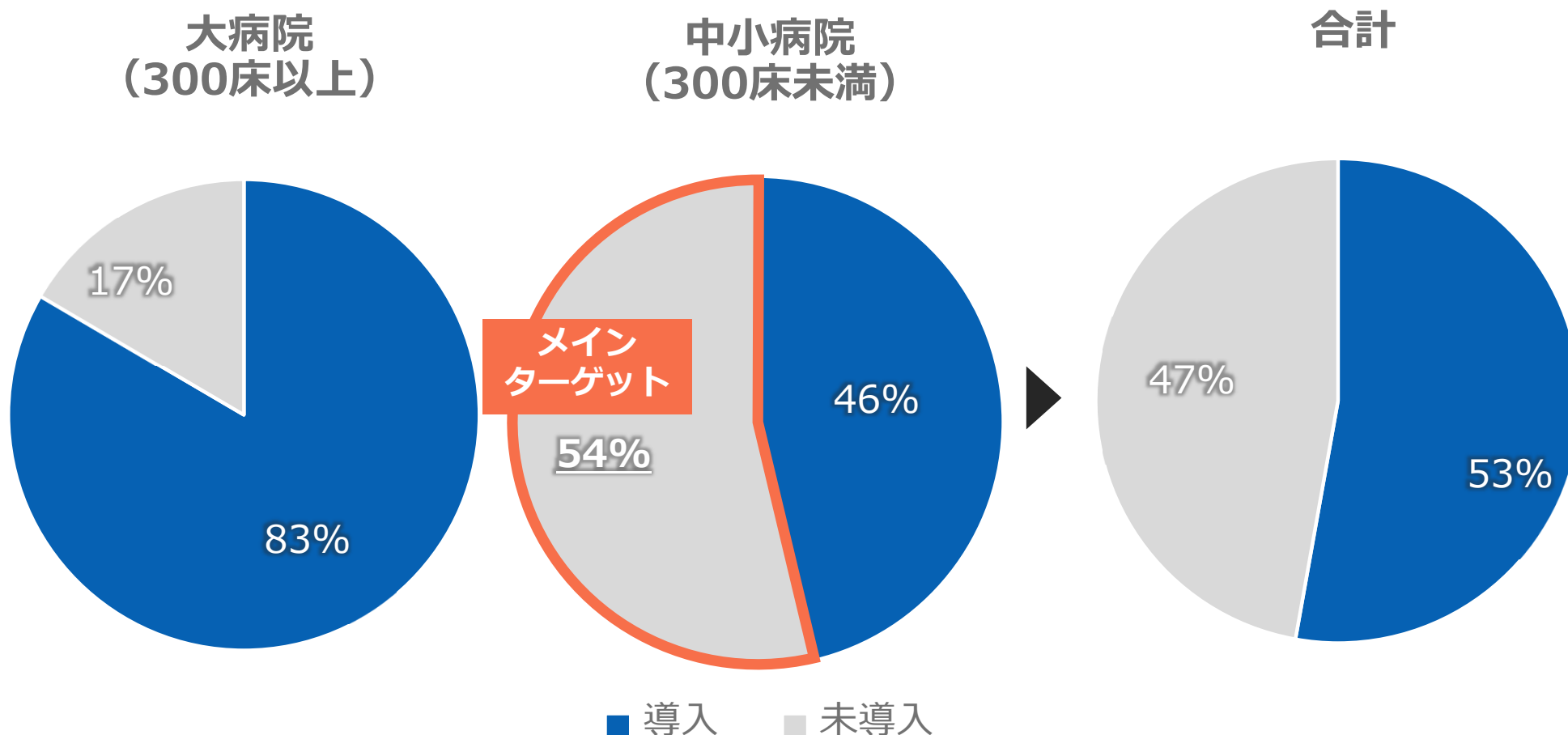
■ 参考資料

事業内容



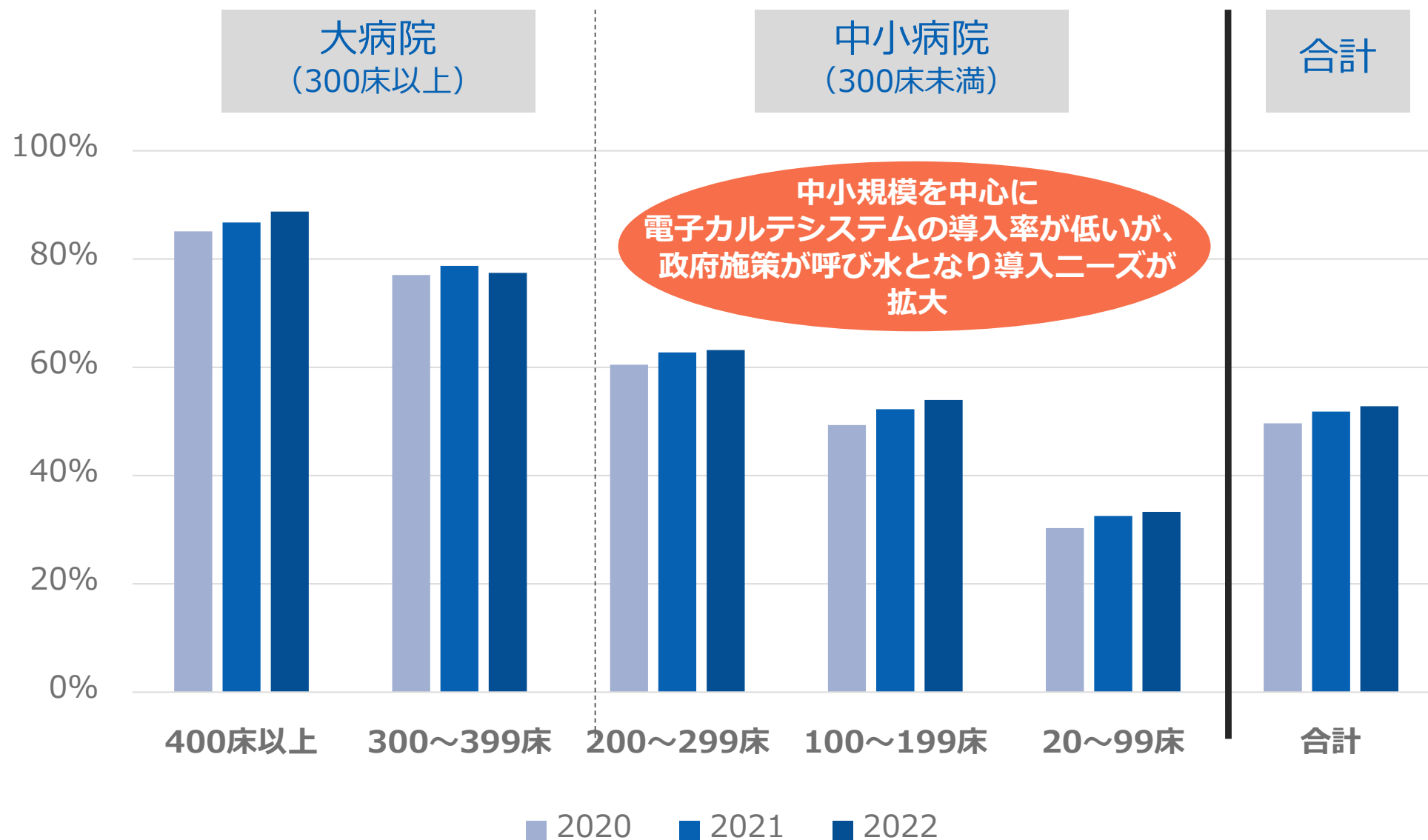
セグメント	主要な製品・サービス		提供会社
ヘルスケア ソリューション 事業	電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」	MI・RA・Is/AZ 等	CSI、MCS
	地域医療連携システム	ID-Link	CSI
	医療機関・患者のコミュニケーションサービス	かかりん	CSI
	医療情報システムの受託開発		CSI、DS
	医療情報システムの運用管理（病院内のシステム・ネットワークの運用管理等）		DS
	医療機関向け料金後払いシステム		DS
	医薬品・医療機器の臨床開発受託		マイクロン
	ソフトウェア医療機器の開発・販売・保守		マイクロン
	企業や健保組合からの、健康相談窓口や特定保健指導の受託		Mocosuku
	一般紹介・派遣		Mocosuku
マーケティング ソリューション 事業	デジタルマーケティング全般の支援		Mocosuku サンカク
	デジタルサイネージシステムの販売		DS

電子カルテシステム導入率



※ 「医療機器システム白書2023」データから当社集計

電子カルテシステム導入率の推移



サステナビリティ



当社は、2013年に下記「企業理念」（以前の呼称は「基本方針」）を定めておりますが、事業を通じて社会に貢献するという使命は設立以来一貫したものであり、それに応えてきたことが25年以上にわたる当社の持続的成長を可能にしたものと考えております。

人々の健康の維持・増進は持続可能な社会を築く上で根源的なものであり、また日本の財政や社会保障制度を持続可能なものとするためには、増大する国民医療費をどのように抑制していくのかも重要な課題です。当社は医療情報システムの提供や医薬品・医療機器の開発支援等を通じて引き続きこれらに貢献してまいります。

加えて、人権・環境等のサステナビリティ課題についても重要な経営課題として取り組んでまいります。

企業理念

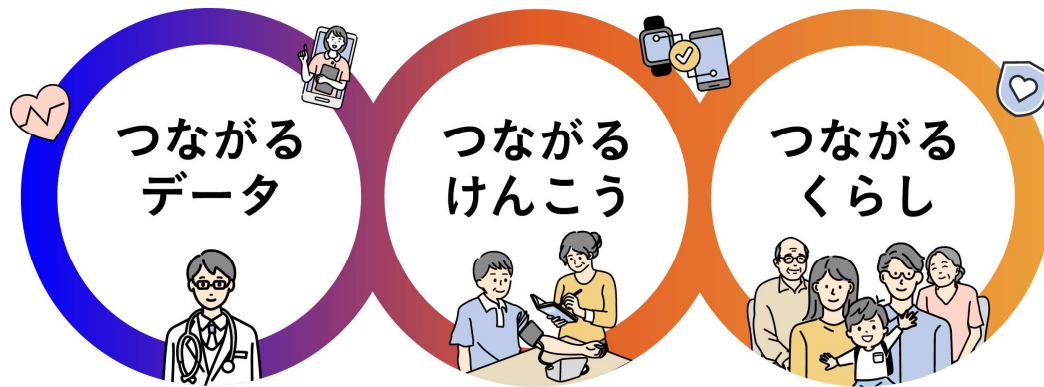
**医療を中心としたヘルスケア全般をITで支援し、それに関わる
「国民の安心・安全な生活」や「社会や事業者が抱える課題解決」に
寄与することを目指す。**

「企業理念」の当社定義：企業の目的や使命等、企業が社会に対して提供する価値を表現したもの。

SDGsへの取り組み



私たちが目指す世界



私たちは、分散する健康・医療データをつなげ、データが生涯にわたって生活の質向上に活用される仕組みを創り、あなたがあなたらしく暮らし、また周りの人たちとお互いに見守るやさしい社会を実現します。

3 すべての人に健康と福祉を



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



「私たちが目指す世界」実現への取り組みは、SDGsのいくつかの目標と完全に合致するものです。私たちは新生児から高齢者まで、そして日本だけでなく世界の人々に健康と福祉を届けるため事業を推進しています。

日本では、医療従事者の働き方改革が求められています。医療現場の生産性を上げ、働きがいのある職場とするためには、情報技術やデータを活用した「仕組み」が必要です。私たちはこの「仕組み」が次世代の新たな基盤となり、多くの国々で利用されるよう取り組んでまいります。



2023年9月期 決算説明会資料

本資料に含まれる業界の動向や分析、今後の見通し、施策等は、現時点における情報に基づき判断したものであります。

従いまして、将来の業績等につきましては、今後様々な要因により、大きく異なる可能性があります。投資を行う際は、利用者ご自身のご判断で行われますようお願いいたします。

(連絡・お問合せ)
株式会社C Eホールディングス
経営・事業企画室
TEL.011-861-1600